



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.1

2010年創刊号(6月)

発行:森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森づくりオープニングイベント！！
「鉄道沿線からの森づくり」



5月8日(土)四季の花が香る文化と芸術の森づくりを目指す深沢地区で、恵みの森づくりのオープニングイベントとして「5色のしゃくなげ350本の植樹」が行われました。

JR東日本八王子支社とあきる野市の主催、深沢自治会の後援、あきる野市観光協会の協力により、晴れ渡る空のもと、一般参加者のみなさん、そして森林レンジャーやサポートレンジャーを含めた総勢約180名が植樹をし、活気のある幕開けとなりました。

毎年2万人を超える観光客が訪れる、南沢のあじさい山がある深沢地区。集落の懐かしい家並みを歩くと暖かい笑顔で迎えてくれる地区の方に出会えます。皆さんの人柄は暖かく、そして自分の町に対する愛情が深いばかりです。まさに、四季の花が香る地区にふさわしい笑顔があふれています！前日の準備からイベント終了後のしゃくなげ350本の水遣りまで、深沢自治会の皆様のご指導のもと、オープニングイベントを無事に成功させることができました。今後も、地区の皆さんの想いを実現するために、協働した森づくりを進めていきます。みなさん、ぜひ深沢を訪れてみてくださいね！



深沢を森の妖精Zi-Zi(ジー・ジィ)がご案内します♪



森林レンジャー始動！！

写真右から

佐々木優也 生き物が大好きで、森に入るとついつい動物の痕跡を探してしまいます。皆さん宜しくお願いします。

加瀬澤恭子 女レンジャー頑張ります！
町(森?)で見かけたら声をかけてくださいね。

杉野二郎(隊長) 大径木の好きな隊長です。
大木の情報お願いします。

パブロ・アパリシオ HOLA! (はじめまして)、南スペインからやって来た山と生物の友達です。よろしくねえ。

アライグマ調査・勉強会（5月12日）



アライグマは、北アメリカ原産の哺乳類で中型犬くらいの大きさになります。日本固有の生き物ではないアライグマには天敵がおらず、増えているのが現状です。そのため、日本では2005年に特定外来生物に指定されました。成長すると体重は5-10kgくらいになり、時には20kgにもなります。目と鼻の黒い部分と白いヒゲが特徴で、尾には縞模様があります。アライグマは雑食性で、生態系や農作物への影響が大きく、あきる野市でも駆除対策が行われています。



アライグマ出没・菅生
民家の桃の木(平成18年11月)



足あと・愛宕神社



爪あと・愛宕神社

今回の勉強会は、小峰ビジターセンター林さんの主催で行われました。ビジターセンター近辺にアライグマと思われる爪あとがあり、今回の講師である関西野生生物研究所の川道美枝子さんと連絡を取り合ったことがきっかけでした。

川道氏同行のもと五日市周辺の社寺の痕跡調査を行い、その後のセミナーではアライグマの生態や全国の事例を知ることができました。アライグマは、社寺や民家などの木造建造物の屋根裏で子育てをします。そのため、建物に侵入する際には柱を伝って登ることが多いです。柱の爪あとや天井裏の大きな足音にご注意ください。

今回の勉強会で学んだことを今後の資源調査・管理に役立て、地域の方と協力して監視を続けていくことが大切だと実感しました。最後に、川道氏からあきる野市の獣害駆除の取組みは、継続的な捕獲が続けられており効果があると高い評価をいただきました。

森林レンジャー活動風景



植樹イベント準備・深沢(5/7)



観察中・切欠(5/10)



シロマダラ(蛇)測定(5/17)



大カシノキ測定・深沢(5/10)



危険木処理・金比羅山(5/14)



大トチノキ・養沢神社(5/15)



炭窯跡・サルギ尾根(5/15)